

第3号様式（第7条関係）

会 議 録

審議会等の名称	令和6年度 第2回 富士市入札監視委員会																						
庶務を担当する部課等	財政部 契約検査課																						
会議の開催の日時	令和6年12月24日（火） 午後2時00分～午後3時30分																						
会議の開催の場所	消防防災庁舎3階 作戦指令室																						
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札監視委員会委員 山本睦、長橋順、畔村勇次、山田建太、飯田浩恵 ・ 工事担当者、事務局 																						
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 発注工事入札契約手続の運用状況報告について 2 案件抽出審議について 																						
配付資料	令和6年度 第2回 富士市入札監視委員会 次第、審議書																						
審議の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議対象となる工事を抽出する指定委員は、事前に長橋委員に依頼済み ・ 令和6年4月1日～令和6年9月30日までに市が発注した159件の工事に係る入札契約手続きの運用状況報告 ・ 入札参加資格停止等の運用状況報告 ・ 抽出案件6件についての審議 																						
審議の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発注工事入札契約手続きの運用について指摘事項は無かった。 ・ 入札参加資格停止等の運用について指摘事項は無かった。 ・ 指定委員が抽出した下記案件について審議を行い、全て適正に処理されていることが確認された。（審議内容については別紙のとおり） <p><抽出案件></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">No.</th> <th style="width: 70%;">工 事 名</th> <th style="width: 20%;">入札契約方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>久沢南779-3号線管路新設工事</td> <td>一般競争入札</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(合併入札) 天間川成島3408号線管路新設工事・丹所天間沢線配水管移設工事</td> <td>一般競争入札</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>美土原中の浦南線配水管移設工事</td> <td>随意契約</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>富士総合運動公園陸上競技場第2種公認更新に係る改修工事</td> <td>一般競争入札</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>令和6年度 県単林道事業愛鷹線舗装工事</td> <td>一般競争入札</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>沖田地区120号水路浚渫工事</td> <td>指名競争入札</td> </tr> </tbody> </table>		No.	工 事 名	入札契約方式	1	久沢南779-3号線管路新設工事	一般競争入札	2	(合併入札) 天間川成島3408号線管路新設工事・丹所天間沢線配水管移設工事	一般競争入札	3	美土原中の浦南線配水管移設工事	随意契約	4	富士総合運動公園陸上競技場第2種公認更新に係る改修工事	一般競争入札	5	令和6年度 県単林道事業愛鷹線舗装工事	一般競争入札	6	沖田地区120号水路浚渫工事	指名競争入札
No.	工 事 名	入札契約方式																					
1	久沢南779-3号線管路新設工事	一般競争入札																					
2	(合併入札) 天間川成島3408号線管路新設工事・丹所天間沢線配水管移設工事	一般競争入札																					
3	美土原中の浦南線配水管移設工事	随意契約																					
4	富士総合運動公園陸上競技場第2種公認更新に係る改修工事	一般競争入札																					
5	令和6年度 県単林道事業愛鷹線舗装工事	一般競争入札																					
6	沖田地区120号水路浚渫工事	指名競争入札																					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再苦情等が寄せられた場合は、臨時会議を開催する。 																						

(別紙) 抽出案件の審議内容

抽出事案1 久沢南779-3号線管路新設工事

	質疑	応答
質問1	参加者がいない不調はよくあることなのか。	参加者がいない不調案件は年に数件ある。特に下水道工事は、場所により地盤が固いところがあるため施工性の悪さから敬遠される可能性がある。また、同時期にほかの入札案件がある場合、施工性の高い工事に参加する傾向がある。
質問2	再発注において予定価格が1、2、3度目に上げて上がっているがどういう理由からか。	不調の場合、交通誘導員や舗装復旧範囲等を再度精査し設計の見直しを行う。また、発注時期のずれによる設計単価の更新もあるため、予定価格が上がる可能性が高いと考える。
質問3	再発注の2、3度目の予定価格は分からないが推測できるのか。	設計書に単価表記はされないが、設計書の数量を見比べれば増減が分かるため、予定価格は予測の範囲で算出できると考える。
質問4	予定価格が上がると入札しやすい状況になるのか。	予定価格は事後公表であり、また不調の場合公表していないため予定価格が上がったから入札しやすいということはない。
質問5	繰り返し不調となっているが入札方式を変更する話はなかったか。	担当課との協議により、入札方式を変更する場合もあるが、今回は発注時期の問題と予測できたため、指名競争入札で業者数を絞らず、対象業者が多い一般競争入札とした。
審議結果	・適正に処理されていることを確認した。	

抽出事案2 (合併入札) 天間川成島3408号線管路新設工事・丹所天間沢線配水管移設工事

	質疑	応答
質問1	応札が1者しかなかった原因は何か。	当該箇所は固い地盤であり、地下水も出る地域のため施工性の悪さから下水道工事は敬遠される傾向がある。
質問2	落札率が高い理由は何か。	下水道及び水道工事は設計書がパターン化されているため精度の高い算出ができると考える。
質問3	参加者は1者しかいなかったが、工事に参加できる業者は何者いるのか。	参加要件に該当する土木一式工事AまたはB等級の業者は市内47者である。
質問4	参加業者は工事箇所の地盤の状況や施工性等調査して応札しているのか。	調査は行っていないと思われるが、地盤の状況や施工性等は業者間で情報が知れ渡ると考える。

質問 5	情報開示は工事の総額を開示しているだけか。	情報開示については、設計書の内訳から単価表の組み方で開示している。
審議結果	・適正に処理されていることを確認した。	

抽出事案 3 美土原中の浦南線配水管移設工事

	質問	回答
質問 1	随意契約理由は書面等に残っているか。	書面は残している。随意契約の発注は理由を指名委員会に諮り承認を得ている。
質問 2	随意契約ではなく一括発注はできなかったか。	本工事は橋の附帯工事であるが、一括発注をした場合、橋の工事完成まで水道工事は半年以上着手待ちの状態となり、進捗がない工程管理等が発生してくるため、着手できるタイミングで随意契約として発注した。
質問 3	附帯工事の場合、業者は予定価格を算出しやすいか。	随意契約は競争性がなくなるため、金額の算出は予定価格に近い傾向がある。
質問 4	契約後着手しなければならぬ期間のルールはあるのか。	土木共通仕様書に1ヶ月以内に現場に入ることが定められている。
審議結果	・適正に処理されていることを確認した。	

抽出事案 4 富士総合運動公園陸上競技場第2種公認更新に係る改修工事

	質問	回答
質問 1	応札業者の金額に差がある理由は何か。	自社で材料を取り扱っていること、自社施工できること、また、薄利になっても実績を残したいという強い意欲により入札金額に差が開いたと考える。
質問 2	第二種の公認というのは基準があるのか。	第一種は世界大会や国体、第二種は県大会レベルである。
質問 3	材料を安く調達できるとのことだが品質管理はされているのか。	屋外スポーツ施設の建設指針に基づいた品質管理を行っているため記録に差が出ないようにしている。
質問 4	失格基準価格を設定しなかった理由は何か。	5,000万円以上の案件については、失格基準価格を設定するが、金額設定が難しい案件については設定しないこととしている。今回は特殊な舗装材料が大部分を占めており金額設定が難しいため失格基準価格を設定しなかった。

質問5	低入札価格審査委員会は富士市にあるのか。	富士市の職員であり、指名委員会の委員で構成されている。
質問6	入札参加者を全国から募集しているが、入札を行うことが分かるのか。	公告は電子入札システムにより公開しており、全国の業者が見ることができる。また、業界紙にも入札情報が掲載されるので確認できる。
審議結果	・適正に処理されていることを確認した。	

抽出事案5 令和6年度 県単林道事業愛鷹線舗装工事

	質問	回答
質問1	総合評価入札方式は高度な技術を求める工事が多いが舗装工事は高度な技術が必要なのか。	本案件は技術的な工夫の余地が小さい工事で企業や配置予定技術者の同種・類似工事の実績や経験、工事成績等に基づく技術力と社会貢献度等を評価する方式を採用している。案件の選定については、担当課が選定しており、2,000万円以上の工事を10件以上発注する担当課は2件以上、10件未満の担当課は1件以上の総合評価案件を設定している。
質問2	評価項目は第三者評価のようなものはあるのか。	評価項目の審査については、県の総合評価審査委員会に依頼している。
質問3	企業の施工能力は新規業者が加点されにくいと思われるがいかがか。	新規業者については総合評価以外の一般競争入札で実績を積んでから参加してもらえれば良いと考える。また、成績の評価は平均点により行い、表彰も年単位のため加算点の差は出ないと考える。
質問4	社会性信頼性の項目の地域貢献とは何か。	町内の道路清掃等のボランティアまたは防災訓練に参加する等、地域貢献として加点の対象としている。
審議結果	・適正に処理されていることを確認した。	

抽出事案6 沖田地区120号水路浚渫工事

	質問	回答
質問1	辞退が多かった理由は何か。	工事箇所が狭く施工性が悪いため辞退が多かったと考える。
質問2	3回目の入札は予定価格を予測できるのか。	3回目は見積合せになり、予定価格の5%以内の場合に移行するため予定価格は予測しやすいと考える。
審議結果	・適正に処理されていることを確認した。	